

小松島商工会議所 商業・サービス合同部会 議事録

日時：令和7年10月23日（木） 午後4時30分から

場所：小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（4名）、サービス部（2名）、事務局（2名）、その他（2名）

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

第1号議案 任期満了に伴う正副部会長の選任について

商業部会

部会長 牧 久雄（再任）

副部会長 庄野 章夫（再任）

サービス部会

部会長 榎原 敏之（再任）

副部会長 吉本 孝（再任）

第2号議案 2号議員の選任について

商業部会

今治 清孝、住村 清一、岡本 忠晃、島 隆寛、關 博

平山 貴郎、湯浅 茂樹

サービス部会

榎原 敏之、長池 良文、中川 正道、吉本 孝

第3号議案 その他

意見交換

- ・観光客の現状と魅力: クルーズ船で訪れる観光客やお遍路の外国人比率は6割を超えており、英語対応やAI翻訳アプリの使用が必須となっている。外国人客は京都や大阪、東京にはない「昔ながらの日本」の親切さや温もりを求めている。
- ・経済的な課題: 多くの観光客はシャトルバスで量販店へ向かい、小松島市への法人市民税収入など経済効果が限定的である。
- ・物流・決済の課題: 練り物などの生物は船内への持ち込みが難しく土産品として不向きである。また、JR乗車券購入時のクレジットカード非対応や、両替所の不足など、現金化・決済の不便さがある。
- ・地域資源の活用: 外国人に最も訴求力があるのはお遍路の寺院（恩山寺など）であり、この周辺での消費を促すための観光ルート作りが重要視された。
- ・ツアーと競合: 地元主導の低価格なツアーは、船会社による高額なオプションツアーの売れ行きに影響するため、船側から制限がかかるという構造的な問題がある。
- ・体験と食を通じたアピール: あいさいキッチンの調理体験など、旬の野菜を使っ

た体験型プログラムをクルーズ船の寄港と連動させる提案が出た。

- ・リピーター戦略: 一度来てもらった観光客に対し、ネットショップなどで年間を通して継続的に地元の美味しい特産品を購入してもらえる仕組みづくり（リピーター対策）の必要性が強調された。
- ・広域的な視点: 小松島は四国の東の玄関口であり、徳島県全域を視野に入れた観光アピールと行政との連携が求められる。
- ・視察研修の実施: 松山に近い東温市など、経済が活発な他市の成功事例を学ぶための全員参加型の研修旅行を実施し、会員の知見と意識を高めるべきと提案された。研修費用については財政状況が厳しく、補助金メニューを調査する方針となった。
- ・地域イベントの活用: 立江寺でのマーケット開催や、400年の歴史を持つ秋葉神社のお祭り（今年は復活）など、既存の文化的な活動を維持・活用していくことが話題に上った。
- ・新たな取り組み: 衛星通信技術を持つ阿南のスタートアップ企業など、四国中四国の革新的な企業の事例を共有し、刺激を得る機会を設けることが検討された。

4. その他

次回の予定 11月19日(水)、12月10日(水)

令和8年1月14日(水)、2月6日(金)、3月11日(水) 16時30分 ～